

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

盆綱(田宮町)

平成元年8月撮影
うしく写真クラブ「みち」所蔵



明治・大正・昭和の
「昔のうしく」の写真を募集しています。

写真は平成元年8月に撮影された田宮町での盆綱の様子です。
この行事では、小学生がお盆の入りの午後、「ジャ(蛇)」※とよばれる綱を担いで「ホートケサーマーノラッセ」といいながら墓地を回ります。
昔は、その後「ホートケサーマーオンジャッタ」「ホートケサーマー

ワタシマースヨ」と連呼しながら各家を回りましたが、現在では、墓地を周回したジャから灯明へ魂を移し、各家はその灯明を提灯に入れて持ち帰り、お盆を迎えます。
※撮影当時まではワラと干方や作り、目にナスをいれていました
が、現在は既製品を使用しています。

牛久の巨樹

問 都市計画課 ☎内線2522

正直町皇産霊神社のムクノキ



国道408号を成田方面に向かつて進み、正直交差点手前約100mの所を左折し、20mほどの右側が皇産霊神社で、石段を上がった境内の本殿左側前方土手の肩に「市民の木No.33ムクノキ」があります。2006年の測定では、幹周3・33m、樹高15・7m、

最大樹冠幅9・8mでした。ムクノキは本州(本県が北限)から琉球に分布し、市内では斜面林などに自生しています。市内最大のムクノキは、幹周6・09m、樹高26・1mの島田町永沼家の御神木です。昔は、材が強靱なため天秤棒や、葉を研磨に使用したそうです。また果実は直径7〜12mmで、黒く熟すと甘酸っぱく、野鳥の大好物です。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章・写真:戸塚昌宏)

「牛久の巨樹」P112~113掲載 ※お求めは都市計画課まで(1200円)

文芸さろん | 葉月 |

新緑の日にあたりつつ初夏を待つ
雷鳴に蚊帳にとびこむ幼き日
山法師花の白さに母かさね
つく波山北にくっきり元氣わく
木の下をひっそりと飛ぶ夏の蝶
にがうりの雄花ばかりが咲き競い
笑顔満つ児童クラブに夏近し
バラ園の深紅のカラーすいこまれ
石垣にさしいでおりしふきのとう
西日を受けて鐘の如し

枝さん
ヒロシ
高階さん
小山さん
塚本さん
堀さん
荒井さん
月田さん
高橋さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係
FAX: 873-2512
E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)